

大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時: 2016年11月22日 (火) 17:15~18:45
- ◆ 場所: D棟3階 示説室
- ◆ 講師: 小野 高裕 先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野教授

大阪大学、東京医科歯科大学、東北大学、北海道大学、徳島大学各歯学部 非常勤講師

大阪大学国際医工情報センター 招聘教員

- ◆ 演題: グミゼリーを用いた咀嚼能率測定の実状と可能性

- 要旨: 1990年代に大阪大学歯学部旧歯科補綴学第二講座で始まったグミゼリーによる咀嚼能率測定法に関する研究は、その後幾多の工夫・改良を重ね、2013年に実用化された。この約20年間に大阪大学を中心に多くの研究論文が発表され、客観的な咀嚼能力評価としては、Manlyらの篩分法に次いで多くの論文が出版されている方法の一つであろう。折しも本年4月の改定で有床義歯咀嚼機能検査法が保険収載され、オーラルフレイルの概念の普及に伴って口腔機能検査の必要性が認識されるようになり、日本老年歯科医学会からは口腔機能低下症の定義に関する学会見解論文が公表されている。こうした流れの中で、簡便で精度の高い大阪大学発のグミゼリーを用いた咀嚼能率測定法は、ますます注目され普及していくものと思われる。今回は、阪大でこの方法を学んだ身としていささか僭越ではあるが、システムの基本的な紹介と特徴、新潟大学における臨床応用や研究における取り組みについて紹介させていただきたい。

(問い合わせ先: 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線: 2954)

※「口の難病」臨床セミナーも兼ねます